



大藤小 3年
光安あいる



ただいっちゃんと
とめちゃん野菜さい



市長賞受賞者のコメント

わたしはひいじいじとひいばあばが大好きです。二人が育てた野菜いをしゅうかくしたところをかきました。それを使ってカレーを作りました。

ひいじいじはひぎがいたいと言っているので、畑仕事を手伝ってあげたいです。

いつまでも元気に長生きしてほしいなと思います。

講評

細部にまでこだわったクレヨン・パスによるしつかりとした線描と、様々に工夫された彩色や大胆な構図が、とても爽やかな印象を見る人に与えてくれます。「91歳のひいじいじと88歳のひいばあばが育てる野菜」が私の自慢とのこと。野菜を通じて、生き生きと暮らされるお二人に対する愛情が絵に溢れているようです。輝かしい野菜と作者の表情が素直に表れていて見る人も笑顔にしてくれるような作品です。

(講評 鈴木 光男)

魅力ある芸術文化活動を目指して

磐田市文化協会 会長 鈴木儀治



撃が予想されたため舞台部門の発表会を中止したことです。結果的には進路がそれによって被害はありませんでした。そのため、これまで練習を重ねてこられた出演者の皆さん方には本当に申し訳なく思っております。

芸術文化の継承・発展と市民文化向上への寄与を主目的とする本協会は、その目的達成に向け、より質の高い企画・運営となるよう新たな気持ちで「ひと工夫を」を合言葉に努めてきました。

展示部門と公募部門については、昨年同様、短期集中・同時開催のもと、それぞれの部門で魅力ある有意義な作品展を開催することができました。

各所属団体の皆さんも、この意を汲んで日頃からそれぞれの芸術文化活動に精進していただいております。

特に第8回を迎えたジュニア・アート展は、市内全小学校から千点以上の出品があり、地に着いた魅力ある作品展となりました。

さて、本年度も本協会の主要事業である市芸術祭に取り組んできましたが、心残りに思うところがあります。それは、台風の直

撃が予想されたため舞台部門の発表会を中止したことです。結果的には進路がそれによって被害はありませんでした。そのため、これまで練習を重ねてこられた出演者の皆さん方には本当に申し訳なく思っております。

く・撮る・詠む展を開催してきました。昨年度は五百人近い来場者があり大変好評でした。本年度も2月開催予定です。今後、スペースの広い展示施設ができればジャンルを増やしていきたいと考えています。

さらには、これからの時代を担う子どもたちの文化意識の向上を目的として取り組んだ子ども絵手紙教室や子どもいけばな教室が大変盛況でした。両教室共に子どもたちの生き生きと取り組む活動ぶりが印象的でした。今後は、茶道教室などジャンルを増やしていきたいと考えています。

なお、文化協会の活動状況は、ホームページで詳しく報告しておりますのでご覧いただきたいと思います。

舞台部門発表

三上 敦

本年度は台風15号により公演が中止となりました。練習・準備を重ねてきましたので苦渋の選択でした。

会場のアミューズ豊田ゆやホールにて、音楽と舞踊、ダンスの混在で多くの参加団体数で実施する予定でした。部門の混在は、舞台転換の難しさがあり、プログラム進行に懸念を抱いていました。次年度は、限られた時間の中でより多くの参加ができるよう、部門構成を工夫していきたいです。



いけばな展

● 展示期間 令和元年10月25日(金)
 ～10月27日(日)
 ● 展示会場 磐田市文化振興センター

鈴木 文恵

加盟8流派による37作品、高校生との8作品、「子どもいけばな教室」の参加者小学生の5作品を展示しました。今年が悪天候のため入手が困難な花材もありましたが、それぞれの思いを表現しました。作品を創る側も観る側も、心豊かに、楽しく癒されたことと思います。

伝統文化の「いけばな」を次世代に繋ぐよう努めています。



磐田菊花展

● 展示期間 令和元年10月31日(木)
 ～11月3日(日)
 ● 展示会場 磐田市文化振興センター

安井 信明

今年の出展数は昨年より大幅に減りました。特に大菊(三本立と一本立)の部門であったため会場が例年より少し寂しかったです。これは今年の異常気象(日照不足、酷暑、台風等)のため5月から成育をする大菊の生長に異常を来たし、伸びが悪かったり開花時期が遅くなったりしたためだと思います。だるま作り、福助、杉作り、クッションママ等は

例年並みに出品され会場を彩られ、来場者の皆様に充分に楽しんでいただけたと思います。



磐田市 ジュニアアート展

● 展示期間 令和元年11月17日(日)～11月24日(日)
 ● 展示会場 ギャラリー長藤

近藤 育夫

今年ジュニアアート展は8回目を迎えることができました。応募数も1029点と多く、磐田市内の全小学校と特別支援学校の参加協力のお陰だと感謝申し上げます。

今年もテーマを受け、家族のことを絵にした作品が目につきました。とかく家族の絆が薄らいでいる昨今ですが、祖母への温かな眼差しや妹や弟を大切に思う気持ち表れた素敵な表現に、心洗われる思いがしました。

また、優秀作品巡回展希望校の皆さんには、学校でゆっくりと鑑賞していただければと思います。



賞	学校名	学年	氏名
市長賞	大藤小	3年	光安あいる
文化協会会長賞	青城小	5年	伊藤 竣汰
教育長賞	磐田中部小	1年	山崎 萌香
特選	磐田北小	1年	平松 由衣
特選	磐田南小	1年	山田ひより
特選	富士見小	1年	坪井友治
特選	福田小	1年	上野 愛美
特選	豊岡南小	1年	佐藤 花香
特選	磐田中部小	2年	星野 花奈
特選	磐田中部小	2年	勝又風右馬
特選	磐田西小	2年	鈴木 夕葵
特選	磐田南小	2年	石野 啓斗
特選	豊岡北小	2年	神谷 みく
特選	磐田北小	3年	野中 美結
特選	岩田小	3年	青島 そら
特選	富士見小	3年	伊藤 諒
特選	豊田南小	3年	瀬畑 佳生

賞	学校名	学年	氏名
特選	青城小	3年	鈴木 悠雅
特選	磐田北小	4年	中村和佳奈
特選	磐田中部小	4年	河上 友輝
特選	東部小	4年	永田 葵惟
特選	富士見小	4年	辻井 晴
特選	竜洋西小	4年	佐野 歩睦
特選	磐田北小	5年	勝又 綾音
特選	磐田西小	5年	中沼 和花
特選	竜洋東小	5年	鈴木 芹羽
特選	豊田南小	5年	齋藤彩有香
特選	豊田東小	5年	八木 嬉奈
特選	磐田中部小	6年	小杉 悠輔
特選	東部小	6年	松島 天鞠
特選	豊田南小	6年	尾崎里緒奈
特選	豊田北部小	6年	野村 春乃
特選	青城小	6年	長尾 朱嶺

公募部門発表

杉山 元



今年には文化振興センターにおいて公募6部門(絵画・写真・書・工芸・短歌・俳句)の作品を鑑賞できるようにしました。

10月の第1週を皮切りに絵画・写真・第2週、書・工芸、第3週、短歌・俳句を開催いたしました。10月12日(土)の絵画と写真は台風の影響で入場者たった4人だけで全体の減少につながりました。搬出入日についても学生や勤労者への配慮が必要かと思えます。全体的に幅広い世代の応募ができるようにしたいです。



令和元年度 磐田市芸術祭

部門別受賞者名

俳句の部

短歌の部

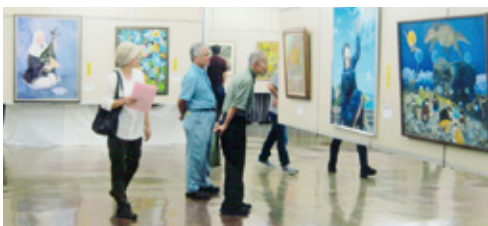
書の部

絵画の部

写真の部

工芸の部

市長賞 高須摩耶子	市長賞 大島みどり	市長賞 近藤 鏡子	市長賞 砂子 精一	市長賞 小枝 弘征	市長賞 寺田 早希
会長賞 鈴木 咲子	会長賞 後藤 勝巳	会長賞 磯部 敏子	会長賞 伊東 強	会長賞 榛葉 周二	特選 高田 由美
教育長賞 福智 淑子	教育長賞 藤原智恵子	教育長賞 森重 裕水	教育長賞 増元明日菜	教育長賞 坂口 明夫	特選 高田 克枝
特選 金田みな子	特選 日馬 真代	特選 鈴木 有紀	特選 浅井 美月	特選 笠原 吉則	奨励賞 太田 友子
特選 溝口 正泰	特選 内山 安代	特選 鈴木 汀風	特選 有海 美波	特選 中山 靖彦	奨励賞 石代 博子
特選 大草 高	特選 折井 雅子	特選 後藤 彩鵬	特選 鈴木 修	特選 大場 孝晴	奨励賞 西 好美
奨励賞 村上 修	奨励賞 岡田 延子	奨励賞 栗田 南峰	奨励賞 上原 孔二	奨励賞 山田 勝三	奨励賞 種茂 正幸
奨励賞 田中 明子	奨励賞 村田 美恵	奨励賞 句坂亜央依	奨励賞 小川 二郎	奨励賞 掛澤 孝彦	
奨励賞 高橋 和代	奨励賞 原田 緑	奨励賞 山口 桃	奨励賞 櫻井 孝子	奨励賞 松本 邦彦	
奨励賞 山城 玲子	奨励賞 鈴木 尚子	奨励賞 中村 汀玉	奨励賞 芹野 洋介	奨励賞 青島 隆	
奨励賞 兵藤 恵	奨励賞 壁屋 匡美	奨励賞 熊切 純緞	奨励賞 高橋 恵子	奨励賞 渡邊 富子	
奨励賞 埋田 あい	奨励賞 鈴木 喜子	奨励賞 諸井 光雪	奨励賞 仲川 勝彦	奨励賞 川島 崇	



あの人を訪ねて

野鳥写真に一筋

石橋久司郎さん

〔石橋久司郎さんの紹介〕見付在住

・NPO法人山翡翠(やませみ)クラブ会長
・磐田市文化協会元写真連盟理事

取材日は10月3日で迷彩柄のつなぎ服。口ひげを蓄え、日焼けした笑顔の石橋さんでした。夏鳥と冬鳥の交代時期らしい。伊吹山のイヌワシ、伊良湖岬のハチクマの撮影から帰ってきたばかり。明日は山梨県のクマタカを撮りに向かうとのこと。軽ワゴン車を改造し撮影機材をのせて鳥を求め東奔西走している真最中でした。

Q 写真との関わりは



ヤマセミ

A 20歳の時、知人と袋井市で写真クラブを立ち上げたことがきっかけです。暗室でモノクロ写真を現像、焼き付けして写真表現の面白さを体験。主に「富士山」の撮影が出发点でした。

毎週末、絶好ポイントを求めて県内外に出かけました。作品を中日新聞や磐田市芸術祭等に応募して、数々の賞も受賞しました。所属グループ展にも参加しながら、カメラの基礎を学ぼううちに写真の魅力にはまり込んでいきました。

Q 「野鳥写真家」への転身は

A 富士山の撮影のために山梨県早川町で、偶然、ヤマセミに出会ってからです。ヤマセミが縁で地元写真仲間とNPO法人山翡翠(やませみ)クラブを立ち上げました。会長として20年目になります。早川町の町長さんが顧問になっています。ヤマセミとの出会いが自分の原点です。

Q これからの方向は

A 一枚の写真にその鳥の生態(生活圏・動態・季節感)が表出できるような撮影に心掛けたいです。さらに手持ちの野鳥写真の種類を650種類になるまで撮り続けたいですね。

◇インタビュ後には、石橋さんの珠玉の野鳥写真も拝見できました。サンコウチヨウ、ヨタカ、アカシヨウビン、珍鳥のカナダツルやコウノトリ：個展の計画もあるようですので発表の機会を楽しみにしています。

〈文責・砂子精〉



撮影機材満載の軽ワゴン車

「伝統を守りながら 新しいものへの挑戦」

鈴木すゑ子さん

【鈴木すゑ子さんの紹介】

- ・ 民族衣装文化普及協会磐田支部長
- ・ 鈴木きもの着付け教室主宰

【主な活動・その他】

- ・ 小学校（きものについての授業）
- ・ 県内の高校「着付け指導、きもの体験」
- ・ 大学のきものクラブ指導
- ・ 県内外のイベントへの参加（成人式、いわた大祭り、ラグビーWカップ等）



- ・ 外国人との交流（きもの姿で、お祭り、お花見等）
- ・ 趣味 スキー、ノルディックウオーク、筋トレ、手芸、旅行
- ・ バレーボール

きものと日本文化を愛してやまない鈴木すゑ子さんのお宅を訪問した。

すゑ子さんが清々しいきもの姿で迎えてくれた。早速通された部屋の隣の和室には、十二単と創作帯を結んだトルソーが飾られており、一気に華やかな雰囲気にも包まれた。きもの文化に対する熱い思いが次々に語られたが、しとやかな反面、明朗闊達であることがすぐに分かった。

まず、きものへの関心はいつからかと、という質問に対し、子どもの頃、授業参観に来てくれた母親のきもの姿だったという。日頃とは違う凛とした姿は自慢でもあり、憧れでもあった。その思いが35年間の教職を退いてから、本格的に「きもの教室」を開ききっかけになった。既に17年経っているが、現在の生徒さんが常に背中を押してくれるという。日々苦心はあるが苦労はないと



という言葉が印象的だった。すゑ子さんの人柄であろう。

19世紀末ヨーロッパでブームを巻き起こした「ジャポニズム」が、東京オリンピック・パラリンピックを控え、今、再び日本が注目を集めている。

時を惜しまず、手間を惜しまずひたすらにきものを愛し、伝統を守りながら新しいものへの挑戦。そして、学びながら教え教えながら学ぶという謙虚さ、感謝の念をもったその姿勢は、今後大勢の生徒さんによって引き継がれることだろう。

最後に、御主人と息子さん家族が快く協力してくれるのが何よりうれしい、と語られた笑顔が心に残っている。

さわやかな一日だった。

〈文責・村上尚子〉

自主事業

夏休み子ども絵手紙教室

●とき 令和元年7月28日(日)
●会場 豊田支所大会議室



線の描き方を習い、各自持参した野菜やおもちやなどをうす墨や色鉛筆、クレヨンを用いて思い思いの絵をはがきに描きました。最後に手書きで落款を入れると素敵な絵手紙が完成しました。制作時の子どもたちの真剣で生き生きとした眼差しに感動しました。



井伊貞二

芸術・文化に親しんでもらおうと毎年夏休みに子ども絵手紙教室を開催しています。小学校1年生から6年生までの37名が参加しました。最初に筆の持ち方、

夏休み子どもいけばな教室

●とき 令和元年8月25日(日)
●会場 豊田支所大会議室



今年で8回目の子どものいけばな教室が開かれ、市内の小学生34名の参加がありました。初めて体験する子どもがほとんどでした。自由な感性を大切にして活けるように励ましました。「楽しかった!」「うまく活けられた」と緊張していた顔も笑顔になりました。

佐口俊子

伝統文化として継承されていくことが難しいが、一人でも多くの子どもが、いけばなを好きになってもらえるように取り組んでおります。

小学生が芸術祭に参加

文化協会広報委員会

昨年に引き続き夏休みいけばな教室に参加した小学生34名のうち女子5名が抽選で選ばれ、11月26日の芸術祭いけばな展の会場で活け込みが行われた。

いけばなの先生のアドバイスを受けながら真摯に取り組む姿が印象的であった。「そうね。とてもいいね。」と、褒められた小学生の表情がよかった。自信をもった瞬間であったと思う。別の小学生が、手にしたはさみで花の茎のどこを切ろうか迷っていると、「周りの花の高さと比べてみて、どこを切るといいのかな」と先生がやさしい言葉かけ。さつと気付いたその子は思い切りはさみを入れた。

どの子どもも活けるのが終わると、ほっとした表情と笑顔を見せた。



加盟団体の紹介をします！

みなみ絵の会

10数年前から福井紀男さんを講師として招き、豊田福祉センターを会場にして開催しています。毎月第2・第4月曜日に会員13名で油絵・水彩画等の絵画制作活動を行っています。作品発表の場としては主に豊田福祉センター、喫茶パルファン富里等で年に3回程度開催し、日頃の研鑽成果を発表しています。楽しく明るく真面目にキャンバスに向かっています。

〈代表者〉鈴木哲治

〈連絡先〉〇五三八―三八―三三二



優曇華へうどんげの会

自然が織り成す四季に咲く野の千草等の香りや彩りを布・紙等に染め付ける活動をしています。失われつつある四季の風景や風物を瑞々しい彩りで楽しみ、「ゆとり、ぬくもり、やさしさ」を「彩(いろ)」で表すことを目的に結成しました。身近かある草花や木を使い磐田ならではの「彩」「絵付」等の研鑽を積み、四季の香り漂う作品を創作しています。現在会員4名、月1回、於保農村婦人の家で楽しみ学んでいます。

初心者でも安心して作品に取り組めます。「彩」で遊んで見たい方、心よりお待ちしております。

〈代表者〉村井静子

〈連絡先〉〇五三八―三一―八九三八



日本壮心流剣詩舞道磐田支部

日本の伝統文化である「剣詩舞」を広く知ってもらおうと活動しています。「剣詩舞」は詩吟に合わせて剣や扇を用いて型を表現する舞です。主に土曜日の夜に活動しています。他の地域との交流や体験教室も開いており、ホームステイをしているアメリカ人親子の参加もありました。来年のオリンピックに向けてのふじの国文化交流発信事業にも参加し、多くの舞台を予定しています。3歳から87歳まで幅広い仲間で古き良き文化を輝く未来へ紡いでいこうと活動しています。

フェイスブックでは浜松昭武館 はままつしょうぶかん で検索してください

〈代表者〉小池かな江

〈連絡先〉〇九〇―四八五三一―二四八



茶道裏千家 なでしこ会

今年から文化協会に入会させていただきます。なでしこ会17名で月3回の稽古をしています。

「道」茶の精神を学ぶ

「学」茶道の多分野の

知識の習得

「実」点前作法の実際を

反復稽古

そして、人としての思いやり、お客様との間の交わす心づかいを修練しております。

笑いあり楽しく時には厳しく稽古に励んでおります。また稽古後には時の経つのも忘れてのサロンでもあります。

〈代表者〉岸井成代

〈連絡先〉〇九〇―五八五八―〇三二七



令和元年度磐田市文化協会 主要事業計画

I 磐田市芸術祭の受託、運営

市民の芸術活動発表の場と鑑賞機会の提供

- 1 美術各部門作品展(絵画、写真、書、工芸)
- 2 ジュニアアート展(市内 全小学校と浜松特別支援学校磐田分校参加)
- 3 文学部門作品展(短歌、俳句)
- 4 舞台発表(合唱、器楽、洋舞、箏・三絃、詩吟・詩舞、日舞、民踊・民舞・郷土芸能)
- 5 いけばな展・菊花展
- 6 茶席の開催(茶道部 コラボ展と同時開催)

II 自主事業

協会の活動状況や鑑賞機会の情報提供、市の文化施設・資産の紹介

- 1 会報「創」24号の発行(芸術祭報告、加盟団体・「あのひとを訪ねて」・活動状況等)
- 2 ホームページを利用した協会の活動状況等の情報発信
- 3 コラボ展「磐田を描く・撮る・詠む」の開催(展示とギャラリートーク)
- 4 「磐田市の歌碑・句碑を訪ねて」の冊子の頒布

III 生涯学習の支援

市民を対象とした文化活動の実施と各地区等の文化活動への支援

- 1 子どもを対象とした支援
 - (1) 子ども絵手紙教室
 - (2) 子どもいけばな教室
- 2 各地区や加盟団体等への支援や協力
 - (1) 「学びの庭」「学びの師」への会員の自主的登録
 - (2) 交流センターや地域での文化活動への支援や協力
 - (3) 文化協会加盟団体の活動支援と協力
 - (4) 「ギャラリー長藤」の運営…芸術活動など発表の場として提供



IV 広域活動支援

広域に連携した文化活動の推進

- 1 県文協西部地区第2ブロック(磐田市、袋井市、森町)広域文化事業
本年度は森町において開催される「ほっとコーラスフェスティバル」への参画
- 2 オリムピック プレ文化プログラム活動への協力…会場の「迎え花」の提供など

V その他

- 1 市内ギャラリーの展示情報の紹介(文化協会ホームページ)
- 2 小・中・高等学校並びに各地区施設との連携(〇〇教室や芸術祭などへの参加依頼)
- 3 まちなかアート散歩の紹介
- 4 各種コンクール審査員の受託(愛鳥週間、ジュビロ似顔絵コンテスト、見付のまち写生大会など)
- 5 芸術文化活動団体への後援

静岡県文化プログラム磐田プレ公演に

「迎え花」を展示

オリンピック、パラリンピックは、スポーツだけの祭典ではない。スポーツと文化、教育を融

合させることがオリンピックの根本的な原則であり、オリンピック憲章は開催都市が「文化プ

ログラム」を演」を開催した。え、本年9月23日(月・祝日)に磐田市民文化会館を会場に「磐田プレ公



ログラム」を開催するよううに定めている。静岡県でも、様々な文化資源を生かしたプログラムが県内各地で展開されている。

磐田市では、スポーツと文化の祭典を絶好の機会ととらえ、本年9月23日(月・祝日)に磐田市民文化会館を会場に「磐田プレ公演」を開催した。プレ公演は日本、韓国、モンゴル、中国の子どもが各国の古典や現代舞踊などを披露。また(故)大岡信さんの詩に合わせてプロダンサーらが「水」をテーマに現代舞踊、演劇、音楽の競演を繰り広げた。磐田市文化協会としては、いけばな部門の方々の協力を得て、ロビー正面に孟宗竹を主とした「迎え花」を展示した。多くの来場者に喜ばれ大変好評を得た。

磐田市文化協会 ご入会のご案内

入会希望の団体は文化協会事務局へご連絡ください。お待ちしております。
文化協会事務局
TEL.0538-86-3730 E-mail iwatabunkyo@aqua.plala.or.jp

編集後記

今年も磐田市文化協会主催の芸術祭が皆様(会員)のご活躍により成果を挙げることができました。

令和元年は、自然災害に泣かされ芸術祭もその煽りを受けました。そのような中、特に学生さんのすばらしい作品が目を引きました。

来年も、若者が力を発揮出来るよう各関係団体に協力を働き掛け、多数の参加を期待したいです。

また、市内のギャラリー情報を掲載したホームページの充実を図り、ジュニアアート展では子どもたちの数多くの出展で盛り上がりました。昨年度好評だった異分野のコラボ展「磐田を描く・撮る・詠む」は2月14日から開催します。

「創」も24号になり、会員及び子どもたちからのパワーを受け発行されました。隅々まで目を通していただくことを願います。(鈴木けい子)

磐田市文化協会
広報委員会

委員長 寺田 潔
委員 砂子 精一

顧問 村上 尚子
委員 鈴木けい子

委員 佐藤 元則